

## 久慈川・那珂川流域治水協議会（仮称） 議事概要

1. 日 時：令和2年8月31日（月）13：30～14：45

2. 場 所：WEB会議

3. 出席者：協議会構成員

茨城県 土木部 河川課長 林 利家

栃木県 県土整備部 参事兼河川課長 橋本 正人（代理：課長補佐 若梅 宏之）

水戸市長 高橋 靖（代理：建設部 技監兼建設計画課長 大森 幹司）

日立市長 小川 春樹（代理：副市長 吉成 日出男）

常陸太田市長 大久保 太一

ひたちなか市長 大谷 明

常陸大宮市長 鈴木 定幸

那珂市長 先崎 光

茨城町長 小林 宣夫（代理：都市建設部 部長 安 正弘）

大洗町長 小谷 隆亮

城里町長 上遠野 修

東海村長 山田 修（代理：建設部長 川又 寿光）

大子町長 高梨 哲彦（代理：副町長 赤津 康明）

大田原市長 津久井 富雄（代理：建設水道部 参事兼道路課長 薄井 一重）

那須烏山市長 川俣 純子

茂木町長 古口 達也

市貝町長 入野 正明

那珂川町長 福島 泰夫

国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所長 原田 昌直

国土交通省 関東地方整備局 久慈川緊急治水対策河川事務所長 石川 武彦

4. 議題

（1）流域治水プロジェクトとは

（2）「久慈川・那珂川流域治水協議会（仮称）」について

（3）流域における対策事例と既存制度の紹介

（4）質疑応答

5. 議事概要

（1）流域治水プロジェクトとは

資料—1により、流域治水の考え方や流域治水プロジェクトの推進について説明した。

参考資料において久慈川・那珂川における流域治水プロジェクトと緊急治水対策プロ

ジェクトの対象範囲、対象期間について説明した。

(2) 「久慈川・那珂川流域治水協議会（仮称）」について

資料－2により、設立趣旨について読み上げ、構成員からの意見・質問が無いことから、（仮称）を削除し協議会が設立した。

規約（案）について説明し、構成員からの意見・質問が無いことから、（案）を削除し、規約が令和2年8月31日付で施行された。

協議会での実施事項と今後の進め方、「久慈川水系流域治水プロジェクト（中間とりまとめ案）」、「那珂川水系流域治水プロジェクト（中間とりまとめ案）」について説明した。

(3) 流域における対策事例と既存制度の紹介

資料－3により、流域における対策事例や流域治水対策の主な支援事業について説明した。

(4) 各自治体からのご意見

- ・河川への雨水集中を抑制する施策により、少しでも水位を抑え、水害の発生を減らすことができる。河川の浚渫、堤防の強化、遊水地の整備と合わせて、河川の水位をさらに下げられるよう市としても協力させていただく。
- ・河川の下流に位置する自治体として大変心強い事業と考えている。那珂川の築堤に向けて全力で取り組ませていただくとともに、支川に関しても一体的に治水対策を進めていくと聞いており、市としてもしっかりと連携させていただく。
- ・河川改修、雨水幹線の整備に加え、校庭貯留施設、遊水地・調整池の整備などにより、雨水の流出抑制対策を進めていきたい。ハード対策に加え、自治会、企業の皆様の協力を得ながらため池の大雨時における事前放流など、ソフト面を併せた対策も大切と考えている。
- ・河川を土木技術で制御抑制していくことは重要であると同時に、流域全体で対応する流域治水の考え方で、あらゆる関係者が防災減災について真摯に取り組み、水防災意識社会の構築、市民への意識づくりを進めていかなければならない。
- ・川幅を拡げる河道掘削の計画的、継続的な取組、遊水地や自然の地形を生かした貯留能力の活用、洪水ハザードマップと関連した情報システムの構築を、各自治体と連携して進めていくことが重要。
- ・流域全体で水を治めていく考えは素晴らしいプロジェクトであり、流域全体で関心をもって川を治めていくことに、全面的に協力をしていきたい。
- ・霞堤の整備について、国と一緒に地域の方々にご理解をいただき、流域全体の治水能力を高めていきたい。
- ・田んぼ、ため池を使った貯水機能について取り組む必要がある。ダムの緊急放流なども

平常時に訓練をしておくことが必要。

- ・那珂川の洪水を防ぐためには、堤防整備や強化、遊水地の確保の他、流域の自治体や住民が一体となって流出の抑制や浸水被害の軽減を果たすことが一層重要になってきている。
- ・酒沼川の対策についてもプロジェクトの中で前進が図られるようお願いしたい。
- ・那珂川の無堤部及び決壊した箇所への堤防整備について町としても全面的に協力していきたい。
- ・二線堤、輪中堤により氾濫した区域の集落を守るモデル事業等があれば積極的に協力していきたい。県管理区間においても検討をお願いしたい。
- ・土地利用・住まい方の工夫など、地域住民との調和が必要。地域住民の意見を聞き、自治体と協力して進めて頂きたい。
- ・今年は初めて排水ポンプの点検や日頃の体制などの意義、地域住民を交えての訓練を行った災害に対して地域住民に意識を持っていただけるようにしたい。
- ・伐採や河道掘削について、漁業の影響がない時期に引き続き進めていただきたい。
- ・各自治体が協力しあって、那珂川、久慈川の整備に協力をしていきたい。
- ・毎回家屋浸水被害を受けている地区があり、被害対象を減少させる対策として、土地利用制限、家屋の移転促進を図る事業について大変関心を持っている。
- ・防災重点ため池の決壊による家屋や公共施設の避難訓練が必要と考えており、今後ご指導いただきたい。
- ・久慈川・那珂川流域治水協議会の設立はとても有意義なこと。実のある組織となるように協力させていただく。
- ・本川からの背水の影響が考えられる支川の合流部も留意して取り組んでいただきたい。